

平成 27 年度 石狩市教育委員会会議（1 月定例会）会議録

平成 28 年 1 月 25 日（月）

開 会 11 時 00 分

第 2 委員会室

○委員の出欠状況

委 員 氏 名	出席	欠席	備 考
委員長 徳 田 昌 生	○		
委 員 門 馬 富士子	○		
委 員 松 尾 拓 也	○		
委 員 山 本 由美子	○		
教育長 鎌 田 英 暢	○		

○会議出席者

役 職 名	氏 名
生涯学習部長	百 井 宏 己
生涯学習部次長（教育指導担当）	武 田 淳
生涯学習部次長（社会教育担当）	東 信 也
総務企画課長	蛭 谷 学 俊
学校教育課長	安 崎 克 仁
文化財課長	工 藤 義 衛
厚田生涯学習課長	熊 谷 隆 介
教育支援センター長	板 谷 英 郁
特別支援教育担当課長	森 朋 代
学校給食センター長	成 田 和 幸
市民図書館副館長	清 水 千 晴
生涯学習部参事（指導担当）	濱 本 賢 一
総務企画課主幹	松 永 実
総務企画課総務企画担当主査	高 石 康 弘

議事日程

日程第 1 会議録署名委員の指名

日程第 2 教育長報告

日程第 3 報告事項

- ① 平成 27 年度石狩市教職員研修「ウインターセミナー」の開催結果について

日程第 4 次回定例会の開催日程

開会宣告

（徳田委員長）皆さん、こんにちは。ただいまから、平成 27 年度教育委員会会議 1 月定例会を開会します。

日程第 1 会議録署名委員の指名

（徳田委員長）日程第 1 会議録署名委員の指名ですが、門馬委員にお願いします。

日程第 2 教育長報告

（徳田委員長）日程第 2 教育長報告を議題とします。教育長から報告をお願いします。

（鎌田教育長）それでは、先月の定例会以降に出席しました主な会議、事業などについてご報告いたします。

先月の 12 月 18 日に、石狩翔陽高校の課題研究発表会が石狩翔陽高校で行われました。これは毎年この時期に行われているもので、今回は徳田委員長と二人で一昨年に引き続き参加をさせていただきました。3 年生 10 名の研究発表ということで、内容的には食生活に関するもの、更には心理学・精神に関するもの、地域

コミュニティやエコに関するものなど、興味深い発表がそれぞれありました。その中で一つだけショッキングなデータの発表があり、翔陽高校に通学する生徒の内、石狩市内在住の生徒を対象にアンケート調査を行ったところ、市内在住の生徒の4割以上は、将来石狩市に住んで、勤めるという考えが無いというのが明らかになりました。その大きな要因として挙げられているのが交通網、いわゆる石狩市はバスしか公共交通機関が無く、バス賃が高いということも含めて、ちょっと住みづらい町だという印象を子ども達が持っているのかなというふうに思いました。高校生の考え方ですから、社会人になるとまた変わってくるのかなと思いますけれども、少々率が高いということも含めてショッキングなデータの発表があったところです。今後、石狩市の交通体系の整備について、また考えなければならぬ時が来るかもしれないということも含めて、気になったところであります。

次に12月22日に、第9回手づくり布の絵本全国コンクールの第1位受賞の報告がありました。石狩市民図書館ボランティアサークルの布の絵本「にじ」が、いわゆる最高レベルの賞を受賞したということであります。実はこの布の絵本「にじ」がこのコンクールにこれまで7回連続で応募をしていました。このコンクール自体は隔年開催なのですけれども、これまでに2位相当の賞を3回連続で受賞していたのですけれども、ようやく念願だった1位を受賞できたということで、メンバーの方たちも相当喜ばれて報告に来られました。作品内容につきましては、市教委の広報紙「にじいろ」にも掲載しておりますので、後ほどご覧いただければと思います。

年が明けて1月11日、平成28年成人式が行われ、委員の皆さんにも出席していただきました。対象者487名の内、速報値では出席が434名ということで、出席率が約89%ということで非常に出席率が高く、過去5年で最高の出席率となっております。参考までに石狩管内の市町村の状況は6割程度と聞いており、主催者としてはうれしく思っております。

次に1月13日ですが、午後から4件の会議がありまして、管内教育委員会協議会教育長部会と、管内人材育成推進会議、管内教育連絡調整会議、管内教育情報交換会にそれぞれ出席しました。特に、管内人材育成推進会議は、管理職の登用の活性化と、特に女性教員の活性化に向けた取組の考え方についての協議をしてきました。また管内教育連絡調整会議については、石狩教育局より石狩管内の教育推進計画の27年度の評価と、28年度の重点に関する部分の説明がありました。これに基づいて2月中に管内それぞれの市町村で教育推進会議が開かれて周知されることになっております。また28年度の石狩教育局と各機関の事業計画の概要についての説明がありました。管内教育情報交換会では、いわゆる研修事業や指定事業をそれぞれ各学校が主体となっていて行われているなかで、成果と課題につい

ての還流をしっかりとやってほしいという要望が、管内の校長会からありました。

次に1月22日、平成27年度の勇退者の講話会ということで、市内の校長では緑苑台小の島田校長、花川小学校の亀浦校長、南線小学校の菊地校長、花川南小学校の青山校長、花川中学校の木村校長の5名の方がこの春で退職されるにあたって、お一人15分ほどの講話を受けてきたところでございます。時間が短かったのですが、各校長先生から個性のあるお話を聞くことができ、特にこの会の中で、5名の校長への要請として、2015年の世相を表す漢字が「安」という字になったのと同じように、退職を控えて、今の自分が感じている漢字を書いてくださいとお願いしたところ、5名がそれぞれ違う漢字を書かれて大変面白かったのと同時に、学校の経営者という立場で、それぞれの漢字を胸に抱きながら、これまで学校運営に取り組んできたのかなと思ったところであります。私からは以上です。

(徳田委員長) ありがとうございます。ただいま教育長から報告がありました。が、この件につきまして何か質問等ありませんでしょうか。

(門馬委員) 学校整備の説明会が、昨年12月から開催されていますが、これまで出されている意見や質疑の内容等についてお話いただけますか。

(鎌田教育長) 説明会については、これまで6回開催しており、引き続き来月まで開催しますが、これまでのところで特徴的なこと等について出席している部長以下の担当職員の方からお答えします。

(蛭谷総務企画課長) 私の方から説明させていただきます。昨年11月の教育委員会会議で学校整備の具体策(案)について議決していただきまして、その内容について各小中学校と保育園の保護者の方を対象にした説明会を開催し、その後は各地域の方を対象にした説明会を開く予定になっております。これまでの経過をお話しますと、11月下旬に2年前から検討を進めていました厚田区と本町・八幡地区の両地区の検討会で説明をいたしました。その後、学校や保育園等を会場として12月に聚富小中学校と、厚田保健センターにおいては厚田小学校、厚田中学校、厚田保育園の保護者を対象に開催しました。今年に入り、八幡地区のくるみ保育園と、厚田区の望来小学校、聚富保育園において、保護者を対象に説明会をそれぞれ開催しております。いずれも関心が高く、主な意見としましては、本音の部分として地域から学校が無くなることについて、親御さんの中にはなかなか積極的に賛成と言えない部分もあるということをお伺いしているのですが、ただ今回提案している統合そのもの自体に絶対反対ですという意見は今のところ聞かれていません。寄せられている感想や意見の中で特に挙げられているのは、やは

り通学手段としてのスクールバスの運行がどのような形になるのか。これは兄妹を持つ保護者からは学校と保育園との接続について、または日中仕事をされている保護者からは授業が終わった後の放課後児童クラブや児童館等で過ごす環境がどうなるのかといった問合わせを受けています。また、具体策（案）の中で今後の留意事項として記載していますが、聚富地区の方から地理的要件や、保護者の職場の位置関係等を考慮した中で、八幡小への通学について是非検討していただきたいという意見が出ております。今後、石狩小学校と石狩中学校での説明会を開催した後は、引き続いて各地区の住民の方々を対象とした説明会ということで、2月8日までの間、引き続き説明会を行いまして、特に大きな反対などが無ければ、まずは厚田区について、できれば年度末から新年度の早い時期に、具体策の決定に向けた手続きに入っていければと、事務局として考えているところです。私からは以上です。

（門馬委員）ありがとうございます。わかりました。

（徳田委員長）他にご質問等はありませんか。

質問なし

（徳田委員長）それでは質問等が無いようですので、教育長報告を了解ということとでよろしいでしょうか。

異議なし

（徳田委員長）ご異議なしと認め、教育長報告を了解しました。以上で日程第2、教育長報告を終了いたします。

日程第3 報告事項

① 平成27年度石狩市教職員研修「ウインターセミナー」の開催結果について

（徳田委員長）日程第3 報告事項を議題とします。報告事項①「平成27年度石狩市教職員研修「ウインターセミナー」の開催結果について」、事務局から説明をお願いします。

(濱本指導担当参事) 私から、平成 27 年度石狩市教職員研修「ウインターセミナー」の開催結果についてご報告いたします。昨年の 12 月 25 日、りんくるを会場に教職経験 8 年目以下の若い先生方を対象に行いました。小学校 49 名、中学校 27 名、合計 76 名の参加で行われ、内容としては、「基礎学力を高める指導」と「集団を育てる学級づくり」の 2 本立てで行いました。小学校・中学校にそれぞれ分かれて、最初にこの 2 つのテーマで提言をいただき、その後グループ討議を行いました。資料 2 ページからはその結果について書かれておりますが、今年度はこの研修が終わった後に報告書という形で、後日それぞれ先生方から書いていただいた部分を集約しました。今回出させていただいたのは多かった意見を中心に記載しております。現在基礎学力を高める指導の向上を目指して工夫している点がそれぞれ書かれていますのでご覧ください。3 ページでは、現在集団を育てる学級づくりの向上を目指して工夫している点について記載しています。4 ページでは、今回の研修を受けて、「基礎学力を高める指導」で、以後実践してみたいと思った点を書いていただきました。下線部のところが非常に多かった部分なのですが、まずは小学校では、交換家庭学習帳という取組みで、班ノートのように家庭学習をグループで回して、それぞれ家庭学習でこのような仕方をしているということを見るという取組みが参考になったという声が非常に多くありました。また「全員参加の授業ということで、早く終わった人が分からない人に教えたり、児童全員が手を挙げるような全員参加の授業を目指したい」「児童が楽しい・学びたいというような意欲を持って学習できるようにしていきたい」という感想や意見を受けています。また中学校でも小学校同様に家庭学習の反応や、その教科を好きになる、勉強が好きになる指導を続けていきたいという意見もありました。それから、「集団を育てる学級づくり」で今後取り組んでみたい点という部分に関しては、小学校では「縦糸と横糸の子どもの関係づくり」、「子供同士が認め合う環境づくり」、「子ども達に対して情熱を持って向き合っていきたい」、「子供たちとたくさん遊んでその遊びの中で指導していきたい」というような意見もありました。次に 5 ページをご覧ください。中学校の方では「行事の後しっかりと反省をして、教師が見通しを持って行うことが大事である」「生徒に役割を与えて学級への所属感を高めるということを今後意識していきたい」「掲示物の工夫や行事への取り組みせ方についても今後実践していきたい」という意見が出ておりました。最後に研修全体の感想です。小学校の方の一点目のところで、「提言について情熱や向上心を見出すよい話であった」とい意見や、二つ目の「それぞれ悩みを抱えていることがわかって、悩みながら仕事をしているから協力していくことが大切だなということを改めて感じた」という意見、また 5 点目に書かれてありますように、「メンター方式のグループ協議が非常に有意義だった」という意見や、7 点目の「グループ協議でとても励まされました。冬休み開けの指導に生かして

いきたい。」「今後、小中高のグループ協議も行なってみたらどうか」というような建設的な意見も聞かれました。6 ページでは、中学校の方からでは1 点目にありますように「提言がよかった」という意見や「グループの話し合いで悩みが軽くなりました。更に頑張ろうという気になりました。」という意見も出ています。また開催時期の検討や、外部からの講師を招いての講演会形式もいいのではないかと考えております。いただいた意見や感想などについては、先日の定例校長会の中で報告し、参加された先生方の声や頑張りを伝えていきたいと考えているところです。この研修報告の最後に、グループ協議の後に4 名の先生の中からお話をしていただき、その中で「子ども達の幸せのために頑張っていきたい。そのためには自分が幸せでなくてはならないと思いました。」というような意見もあり、非常に若い先生方が頑張っている姿を見て、石狩の未来の教育は明るいなと強く感じた次第です。以上で報告終わります。

（徳田委員長）ありがとうございました。ただいま事務局から報告がありましたが、何かご質問やご意見等はありませんでしょうか。

（松尾委員）全体の感想としまして、非常に思いのこもった意見等をたくさん見させていただきまして、当日すごく盛り上がったいい研修だったの难道うかと感じました。いくつか建設的な意見もいただいているようなので、今後もよりよい研修内容になるようにご検討していただければと思います。

（門馬委員）私も感想なのですが、参加された先生方の意見を拝見していると、日頃から悩みをお一人で抱えていらっしゃる先生方が多いのかなと感じました。こういう機会に先生方が悩みを共有することでまた仕事への意欲がわいてくる、そういうことになればいいのでしょうかけれども、常に先生方は多忙感の中で仕事をしてらっしゃると伺っております。本当はもう少し余裕を持って仕事ができ、あるいはこういう研修の機会をもっと作ってさし上げるといいだろうなと感じました。

（徳田委員長）ありがとうございました。お二人の委員の感想に関しまして、事務局から何かありますでしょうか。

（濱本指導担当参事）各学校でも研修が行われていて、こういったメンターチームで分かれて行っている学校もございます。また若い先生は放課後に先輩からアドバイスを受たり、若い先生方同士でも話し合っている場面が見られるのではないかなと思うのですけれども、やはり昔に比べてそういうような頻度が少なく

なっているのかなという部分は否めないと思います。そういう意味ではこういう研修は非常に良かったのではないかと思います。しかし、やはり日常から各学校で励ましあいながらやっていくような雰囲気を作っていくことは、門馬委員がおっしゃるように大事なことだなと思っております。

（山本委員）今回のこのセミナーは、小学校と中学校でグループ等に分かれて行われたと思うのですが、小学校の先生が中学校の先生に対する思いや、中学校の先生が小学校の先生に何か言いたいことなどもあると思うので、小中ミックスでこのようなグループ討議を行う機会も今後持てればいいのではないかと思います。以上です。

（濱本指導担当参事）これまでは年1回ですが、中学校区単位で小学校の先生と中学校の先生が授業を見たり、研修を行っています。ただ全体でやるというと、ちょっと焦点がボケたりする部分があると思いますので、非常に今小中の部分というのは連携の部分も非常に大切だと思いますので、その部分を何かの機会に取り入れていきたいなと思っております。

（鎌田教育長）濱本参事からもありましたように、各学校でもそれぞれ研修が行われていますし、市内では石教振、管内では教育研修センターの研修など、研修の機会は色々あります。ただ、せっかく研修を受けて学び得たものが、自分の所属する学校に戻った時に学校の中で還流されているのかということが課題であると思っております。研修の成果として得たものを学校の中で上手く還流して、全教員が同じ方向を向くことが学校の経営に一番必要であるので、この点について今後意識しながら取り組んでいかなければならないと思います。具体的にどのように還流するかというのは、例えば研修の成果を学校内でそれぞれ回覧するだとか、報告会をするだとか、忙しい中でそれをやるのはなかなか難しいとは思いますが、そういった努力も学校の先生達に求めたいと思っています。以上です。

（徳田委員長）ありがとうございました。他に質問等はありませんか。

質問なし

（徳田委員長）他に質問がないようですので、報告事項①を了解ということでよろしいでしょうか。

異議なし

(徳田委員長) ご異議なしと認め、報告事項①を了解しました。以上で、日程第3 報告事項を終了いたします。

日程第4 次回会議の開催日程

(徳田委員長) 日程第4 次回会議の開催日程を議題とします。

(徳田委員長) 次回については、2月15日の月曜日、13時30分からの開催を予定しております。よろしくお願い申し上げます。

閉会宣告

(徳田委員長) 以上をもって、1月定例会の案件は、全て終了いたしました。以上で、平成27年度教育委員会会議1月定例会を閉会いたします。

閉 会 11時33分

会議録署名

上記会議の経過を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成28年3月31日

委員長 徳 田 昌 生

署名委員 門 馬 富士子